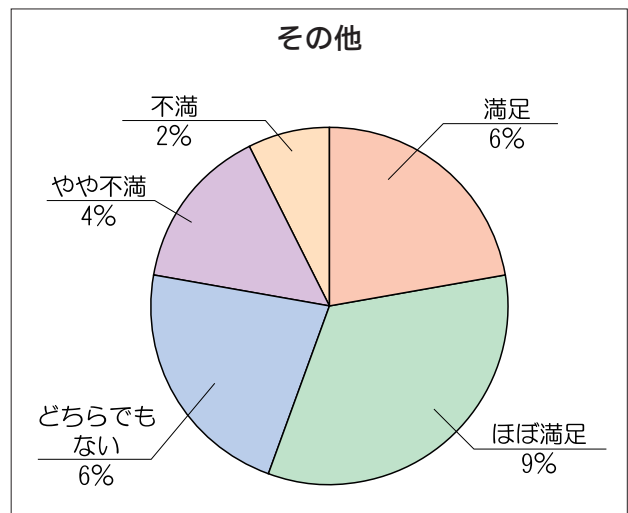
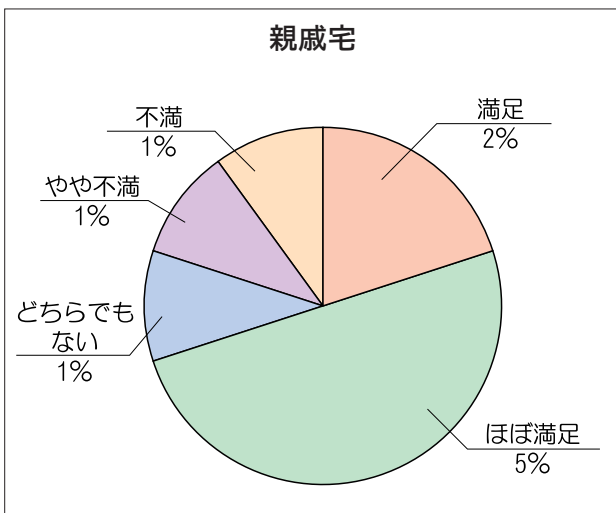
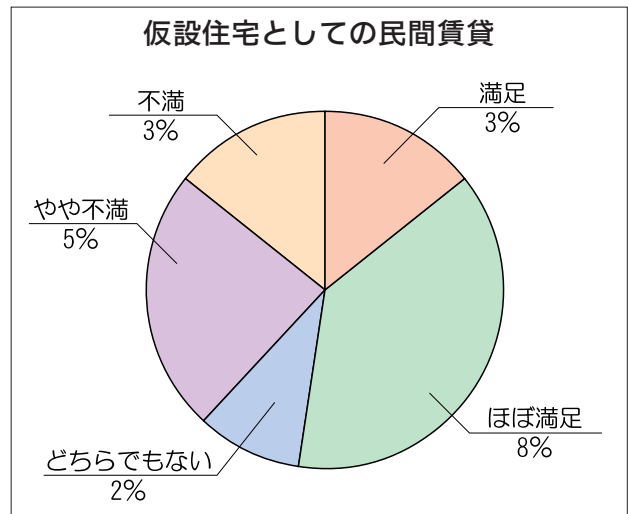
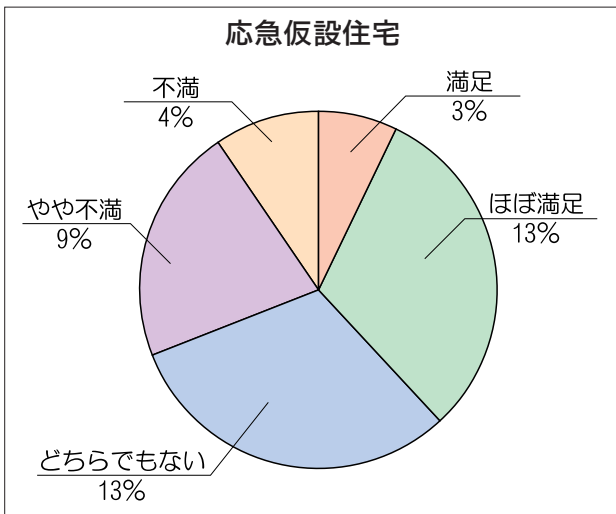
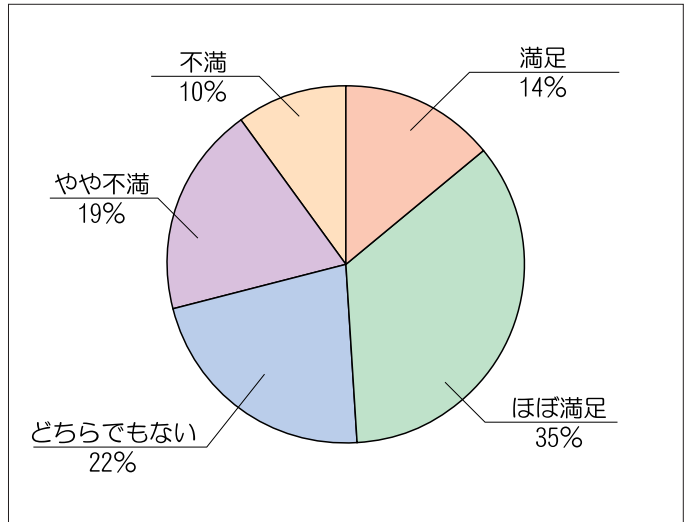


(10) 避難世帯の現在の居住場所ごとの住み心地

No.	項目	満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	不満	total
1	応急仮設住宅	3	13	13	9	4	42
2	仮設住宅としての民間賃貸	3	8	2	5	3	21
3	親戚宅	2	5	1	1	1	10
4	その他	6	9	6	4	2	27
	total	14	35	22	19	10	100

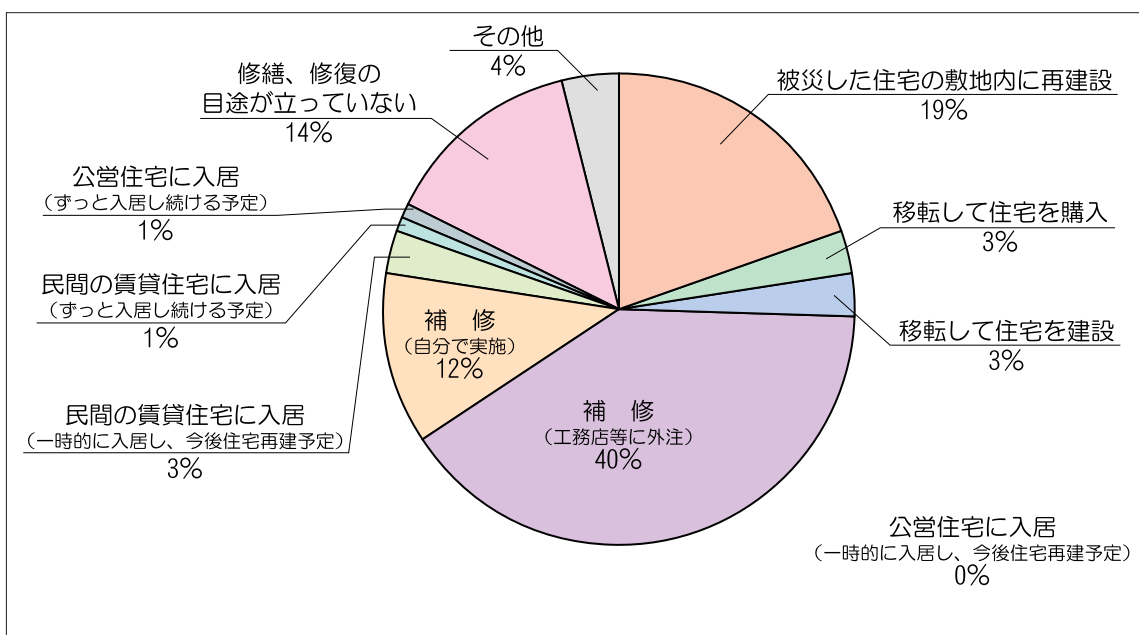
避難世帯の現在の居住場所の住み心地については、満足とほぼ満足の計が49%、不満とやや不満の計が29%、どちらでもないが22%となっています。

居住形態ごとの住み心地については下グラフのとおりとなっています。



(11) 住家の被害状況と被災住家の再建方法（方針）

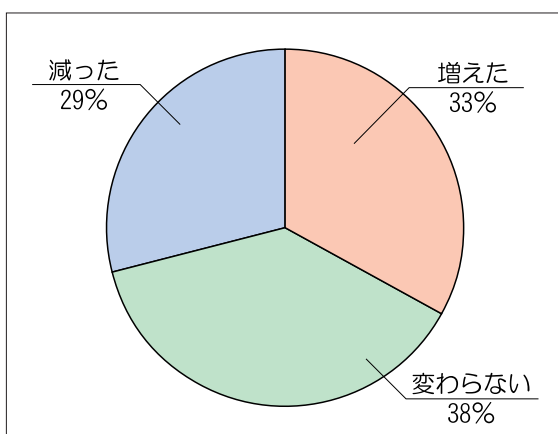
No.	項目	全壊	大規模半壊	半壊	一部破損	total
1	被災した住宅の敷地内に再建設	7	3	7	2	19
2	移転して住宅を購入	2	0	0	1	3
3	移転して住宅を建設	1	1	1	0	3
4	補修（工務店等に外注）	2	3	20	15	40
5	補修（自分で実施）	0	1	6	5	12
6	民間の賃貸住宅に入居（一時的に入居し、今後住宅再建予定）	1	1	1	0	3
7	民間の賃貸住宅に入居（ずっと入居し続ける予定）	0	0	0	1	1
8	公営住宅に入居（一時的に入居し、今後住宅再建予定）	0	0	0	0	0
9	公営住宅に入居（ずっと入居し続ける予定）	1	0	0	0	1
10	修繕、修復の目途が立っていない	2	1	6	5	14
11	その他	1	0	1	2	4
	total	17	10	42	31	100



(12) 震災前と比較した現在の生活費と収入の変化

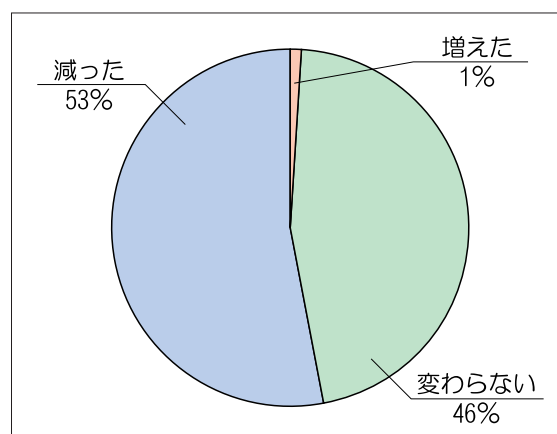
《生活費》

	項目	パーセント
1	増えた	33
2	変わらない	38
3	減った	29
	total	100



《収入》

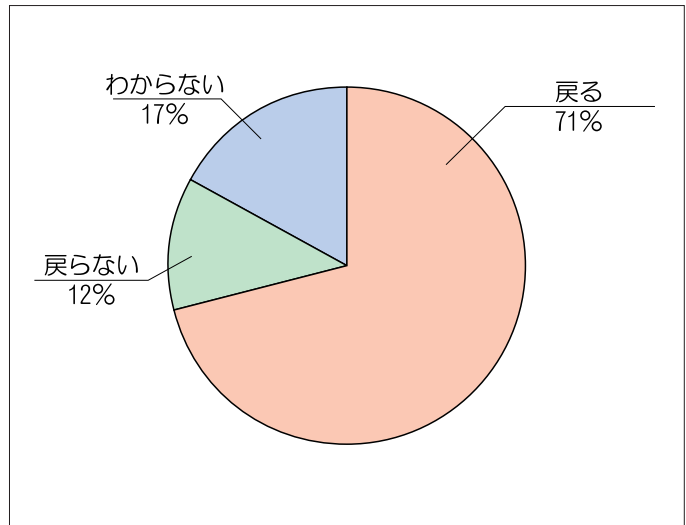
	項目	パーセント
1	増えた	1
2	変わらない	46
3	減った	53
	total	100



(13) 避難指示・勧告が解除された後にもとの居住地に戻りますか？

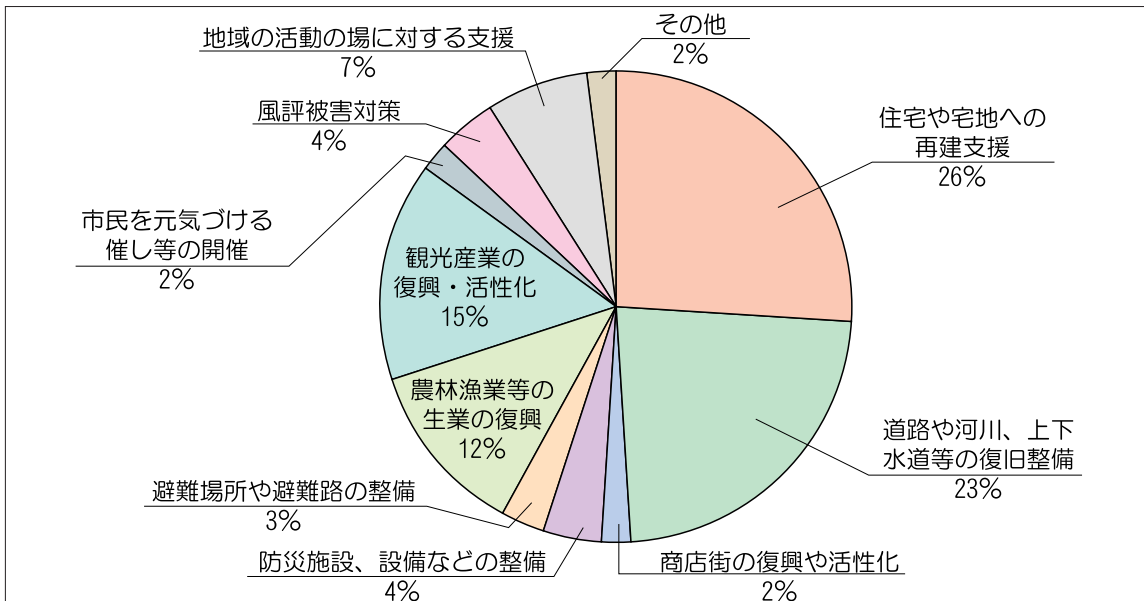
No.	項目	パーセント
1	戻る	71
2	戻らない	12
3	わからない	17
	total	100

解除後にもとの居住地に戻る方は71%、戻らない方は12%、わからないが17%でした。



(14) 復興を進めていく上で期待すること（3つ以内で選択）

No.	項目	パーセント
1	住宅や宅地への再建支援	26
2	道路や河川、上下水道等の復旧整備	23
3	商店街の復興や活性化	2
4	防災施設、設備などの整備	4
5	避難場所や避難路の整備	3
6	農林漁業等の生業の復興	12
7	観光産業の復興・活性化	15
8	市民を元気づける催し等の開催	2
9	風評被害対策	4
10	地域の活動の場に対する支援	7
11	その他	2
	total	100

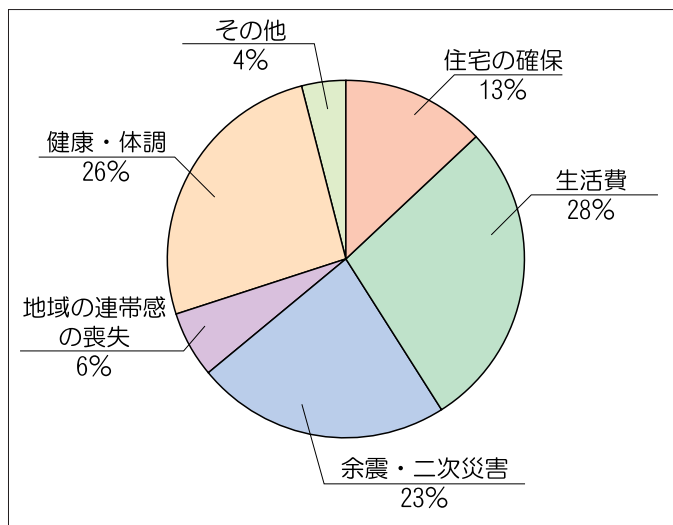


復興を進めていく上で期待することは、住宅や宅地への再建支援（26%）、道路や河川、上下水道等の復旧整備（23%）、観光産業の復興・活性化（15%）、農林漁業等の生業の復興（12%）の順に多くなっています。

(15) 今の暮らしで不安に感じること（2つ以内で選択）

No.	項目	パーセント
1	住宅の確保	13
2	生活費	28
3	余震・二次災害	23
4	地域の連帯感の喪失	6
5	健康・体調	26
6	その他	4
	total	100

生活費（28%）、健康・体調（26%）、余震・二次災害（23%）の順に多くなっています。



(16) 大規模な災害に備えて日ごろから充実させておく必要があること（3つ以内で選択）

No.	項目	パーセント
1	情報連絡体制の充実	22
2	避難場所の避難路の充実	5
3	上下水道等の耐震強化	8
4	建物の耐震強化	12
5	道路などの生活基盤の強化	15
6	地域コミュニティの充実	6
7	行政の対応力の強化	18
8	救急・救護体制の充実	9
9	必要物資の備蓄	4
10	その他	1
	total	100

情報連絡体制の整備（22%）、行政対応力の強化（18%）、道路などの生活基盤の強化（15%）、建物の耐震強化（12%）の順に多くなっています。

